

【部課名： 健康こども部子育て応援課】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
母子健康診査事業		妊娠婦・乳幼児の疾病の早期発見と健康の保持増進及び育児支援を目的とする。 妊娠健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、乳幼児健康診査、経過観察健診、歯科健診を実施。		指標	総計の現状値	R6実績値	妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。成果として、乳幼児健診受診率の増加にもつながった。	健診実施にかかる人員確保が課題となっている。保健師や看護師等専門職をはじめ、医師の確保についても課題が生じているため、委託の導入も検討する必要がある。	
総合計画の位置づけ				乳幼児健診受診率	96.88%	98.35%			
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち								
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	77,708	(75,510)					
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します	R6決算見込額	81,016	(76,872)					
		R7予算額	83,753	(78,354)					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
母子健康管理事業		母子及び乳幼児の健康保持及び増進を図ることを目的とする。 母子健康手帳交付、妊娠8か月面談、両親教室、離乳食講習会、幼児食相談会、育児相談、家庭訪問、産後ケアなどを実施。		指標	総計の現状値	R6実績値	妊娠届出時の全数面接や家庭訪問、育児相談・教室、産後ケアなどを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実が図れた。シームレスな支援を意識して行うことが、育児が楽しいと思う市民の割合増加につながったと考えられる。	出産や産後の生活について具体的に考え始める妊娠8か月の時期に、産後利用できるサービスや必要な手続きの情報提供等を行うための妊娠8か月面談の実施数が少ないため、対象者へのさらなる周知と、利用やすい相談支援体制の充実が必要。	
総合計画の位置づけ				乳幼児健診受診率	96.88%	98.35%			
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち								
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	137,387	(7,311)					
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します	R6決算見込額	3,402	(1,434)					
		R7予算額	4,347	(1,296)					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
妊娠・出産・子育て応援事業		妊娠の健康づくりと、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談の充実を目的とする。 マタニティ応援プロジェクト、にこにこベビー訪問、出産・子育て応援事業の実施。		指標	総計の現状値	R6実績値	令和5年度に実証実験として開始した、栄養価の高い金芽米10kgを妊婦に毎月配る「マタニティ応援プロジェクト」を予算化し実施。令和6年度は延べ3,565人へ配布し、妊婦の健康増進や、出生児の体重増加に寄与した。 7か月児を対象とした訪問時に育児相談・支援を主目的とした「にこにこベビー訪問事業」においては、50,000円分のギフトカードも配付し、多面的な支援を実現できる事業として実施した。 出産・子育て応援交付金事業については、対象者に一回50,000円を給付するだけでなく、申請時に育児相談等面談を行うことで、伴走型支援を実現することができた。	マタニティ応援プロジェクトについては、引き継ぎ食による妊婦の健康増進に取り組む。 にこにこベビー訪問については、カタログギフトに掲載する地域商材を増やすことで、子育て支援だけでなく、地域経済にも寄与できるよう委託業者と連携して取り組む。 出産・子育て応援事業については、令和7年度から妊婦のための支援給付金として法定化されたが、今後も適正給付に努め、伴走型支援と一体的に取り組む。	
総合計画の位置づけ				乳幼児健診受診率	96.88%	98.35%			
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち								
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	母子健康管理事業で実施						
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します	R6決算見込額	96,623	( 2,839 )					
		R7予算額	140,739	( 0 )					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み		
団体等育成支援事業（母子福祉会）		泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。 泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会（隔年実施）の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。			指標	総計の現状値	R6実績値	母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。		母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。	
総合計画の位置づけ		こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合			58.1%	60.7%					
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち										
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】									
		R5決算額	359	(359)							
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算見込額	359	(359)							
R7予算額	192	(192)									
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み		
ひとり親家庭医療助成事業		医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。 ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。（同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。）			指標	総計の現状値	R6実績値	医療費の一部を助成することによるひとり親家庭への経済的支援により、生活の安定と児童の健全な育成につながっている。		ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。	
総合計画の位置づけ					児童家庭相談数	673	754				
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち										
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】									
		R5決算額	58,362	(29,537)							
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します	R6決算見込額	54,096	(26,503)							
		R7予算額	56,698	(28,279)							
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み		
子ども医療助成事業		子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うとともに、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。 満18歳（高校3年生修了）までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。（同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円）			指標	総計の現状値	R6実績値	子どもの医療費の一部を助成することによる子育て世帯へ経済的支援を行うことにより、子どもの健康の向上と福祉の増進につながっている。		子育て世帯の経済的負担を減らし、子どもの早期受診を促し重症化予防にもつながっているが、国の制度として確立されておらず、市町村間で格差がある。年齢引き上げによる市の負担額も増えているため、引き続き国に制度の確立を要望していくとともに、府に対しても入院及び通院の対象拡大と所得制限の撤廃を要望していく。	
総合計画の位置づけ					児童家庭相談数	673	754				
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち										
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】									
		R5決算額	339,393	(243,528)							
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します	R6決算見込額	325,589	(226,238)							
		R7予算額	340,150	(231,955)							

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み			
障がい児通所支援施設処遇改善事業		関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター（障がい児通園施設）及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	本格的な早期療育の機会を提供することにより、こどもたちの将来にわたる自立の促進に寄与する事ができた。		本市のこどもたちが当施設に通うことが、こどもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れできていることから、継続して実施していく。		
総合計画の位置づけ					児童家庭相談数	673	754					
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち											
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】										
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します	R5決算額	2,070	(1050)								
		R6決算見込額	1,715	(525)								
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み			
発達支援事業		こどもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制)の充実を図ることを目的とする。発達支援チーム体制構築のため、①発達に支援を要するこどもの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	①発達の早期気づきと早期発達支援：2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。②発達障がいの理解の促進：発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知をすすめるとともに、職員向け研修により人材育成を図った。③家族支援：発達相談や発達支援教室における保護者支援の他、ペアレントトレーニングや家族交流会を実施。④切れ目ない支援体制づくり：「わたしノート」(サポートブック)の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目のない支援体制の強化を図った。また、所属する園所や児童発達支援センターとの連携により、スムーズな支援へのつなぎや、支援方針の共有による発達支援の強化を図った。		発達障がいや発達支援についての理解をすすめるための周知・啓発の検討および地域の支援力向上に向けて児童発達支援センターと共に検討していく必要がある。		
総合計画の位置づけ					児童家庭相談数	673	754					
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち	事業費（うち市負担額）【千円】										
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	R5決算額	2,660	(163)								
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します	R6決算見込額	2,409	(0)								
		R7予算額	7,102	(2102)								